

TypeQuick for Schools

20251014

研修キット USB版 ユーザーズマニュアル

- Version14 -

ご注意

- ・ USB メモリをパソコンから取り外す際には、必ず裏面の手順で安全な取り外しを行ってください。
- ・ 安全な取り外しを行わないと練習記録データを破損する可能性があります。
- ・ このマニュアルは予告なく改訂されることがあります。マニュアルの最新版は以下のサイトからご覧いただけます。

<https://www.datapacific.co.jp/typequick/support/manual.html>

開発元／著作権保有者 Typequick Pty. Ltd.
日本語版発売元 日本データパシフィック株式会社

All Rights Reserved. (c)Copyright Typequick Pty. Ltd. Sydney Australia

- Windows 11 は米国 Microsoft Corporation の商標です。
- TypeQuick はオーストラリア Typequick Pty. Ltd. の登録商標です。
- その他掲載の商標名は、一般に各社の商標及び登録商標です。

はじめに.....	4
TypeQuick for Schools の概要.....	4
TypeQuick USB メモリのお取り扱いについて.....	5
USB メモリお取り扱い上の注意.....	5
個人ファイルの保存先と TypeQuick プログラムフォルダ.....	5
コースの説明.....	6
基本操作.....	7
起動方法.....	7
終了方法.....	8
練習の開始.....	9
練習の進め方.....	10
練習を始める前に.....	10
上達のポイント.....	11
スピードと正確率を高めるポイント.....	11
強化レッスン.....	11
レッスンの復習.....	12
レッスンのスキップ.....	12
メインメニュー.....	12
レッスンの開始.....	12
続きから始める.....	12
練習コースの選択.....	12
レッスン番号の選択.....	13
レッスン成績.....	13
設定.....	15
終了.....	17
その他の機能.....	18
進捗状況レポート.....	18
データの同期.....	18
練習記録データを出力する.....	18
練習記録データを取り込む.....	18
レッスンを中止する.....	19
ヘルプ.....	19
Esc キー.....	19
ユーザ ID、氏名の変更.....	19
画面サイズの変更.....	19

学習するキーの一覧	20
「英字／ローマ字コースキーボード」で学習するキーの一覧	20
「記号入力レッスン」で学習するキーの一覧	21
「テンキーレッスン」で学習するキーの一覧	21
TypeQuick 技能認定証	22
TypeQuick 技能認定証について	22
カードの種類とレベル	22
判定方法	22
お申込み方法	22
ユーザサポート	23
FAQ	23
ユーザサポート	23

はじめに

TypeQuick for Schools の概要

タイプクイックは1982年にオーストラリアの Typequick 社によって開発されました。その後1985年には日本語版も発売され、現在までに世界11カ国、100万人以上の方にご利用いただいているタイピング練習ソフトのベストセラーです。

タイプクイックは学習者のキー入力のスピード、正確率、練習時間など、全ての練習データを記録しています。タイプクイックは学習者一人一人の練習状況を細かく分析し、不得意なキーや単語を練習テキストに自動的に組み込んで自然な形で出題します。それぞれの学習者に最適な練習テキストが自動編集されますので、苦手意識を持つことなく、効率的にタッチタイピングをマスターすることができます。

TypeQuick は、大きく分けて、(1)タッチタイピングを基礎から身に付けるための英字／ローマ字入力によるキーボード練習のコース、(2)既にタッチタイピングが身に付いている方を対象としたスキルアップのためのトレーニングコースから成ります。

はじめてタッチタイピングを学習する方は、「ローマ字コースキーボード」または「英字コースキーボード」から始めることをお勧めします。これらのコースは、キーをグループ毎に覚えていくレッスン 1～8、スピードと正確さの練習を交互に行って総合力を高めるためのレッスン 9～10 からなり、タッチタイピングの基礎を身に付けることができます。

各レッスンは、2～3 のパートに分かれています。各レッスン、パートの終わりには練習結果とコメントが表示されます。タイプクイックが復習をおすすめすることもありますので、そのときには素直に従ってください。

レッスンはいつでも復習したり、スキップしたりすることができます。タイプクイックはさまざまな練習方法を自動的に組み合わせて、あなただけのコースを作成しますので、退屈と感じることはないでしょう。キー入力に自信がついたら、さらなるスキルアップのためのトレーニングコース(ロイヤルチャレンジ、記号入力レッスン、テンキーレッスン、変換レッスン)に進んでください。

TypeQuick USB メモリのお取り扱いについて

USB メモリお取り扱い上の注意

- USBメモリをパソコンから取り外す際には終了方法(P8)をご参照の上、必ず 【安全な取り外し】を行ってください。

安全な取り外しを行わないと練習記録データを破損するおそれがあります。

[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコン



- コネクタ部に異物を入れたり、金属物を当てたりしないでください。
- 高温・多湿、または埃や水気の多い場所、磁気の影響を受ける場所でのご使用・保管はしないでください。
- 水、薬品、油などに触れさせなでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。



個人ファイルの保存先と TypeQuick プログラムフォルダ

TypeQuick USB メモリ内には 2 つのフォルダ「Personal Folder」「Typequick」があります。



Typequick for Schools



Personal Folder には任意のファイルを保存することができます。個人の文書やデータなどを保存する際には、Personal Folder に保存してください。

Typequick フォルダには TypeQuick プログラムが保存されています。

Typequick フォルダ内のファイルは削除や変更はしないでください。TypeQuick プログラムファイルを削除、変更すると TypeQuick が起動できなくなります。

コースの説明

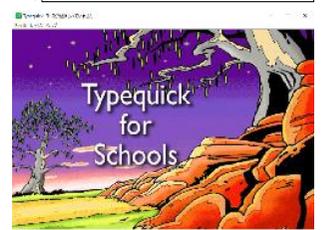
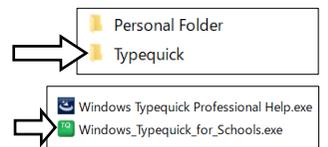
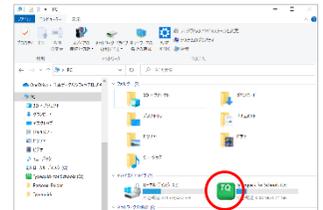
TypeQuickには初心者の方から経験者の方までお使いいただけるさまざまなコースが用意されています。初めてタッチタイピングを学習される方は、タッチタイピングを基礎から身に付けるための、「英字コースキーボード」、または「ローマ字コースキーボード」からはじめることをおすすめします。

英字コース (例) TypeQuick is best.	キーボード	文字キーと数字キーの位置と正しい指使いを、10 レッスンに分けて学習します。練習テキストは英文です。
	ロイヤルチャレンジ	正確さを高める正確さの練習とスピードを高めるスピード練習を交互に行い、総合力を高めます。 正確さの練習は正しいキーを打つまで先に進むことはできません。 スピード練習はミスタイプをしてもどんどん先に進むことができます。指使いの練習はありません。 記号、大文字、数字キーなど、通常の文書作成に使われるすべての文字が練習テキストに含まれています。 練習テキストは英文です。
ローマ字コース (例) honjituha seiten nari	キーボード	文字キーと数字キーの位置と正しい指使いを、10 レッスンに分けて学習します。練習テキストはローマ字です。
	ロイヤルチャレンジ	正確さを高める正確さの練習とスピードを高めるスピード練習を交互に行い、総合力を高めます。 正確さの練習は正しいキーを打つまで先に進むことはできません。 スピード練習はミスタイプをしてもどんどん先に進むことができます。指使いの練習はありません。 練習テキストはローマ字です。
記号入力レッスン		記号キーの練習コースです。
テンキーレッスン		データ入力に役立つ数字キーの練習を行います。
変換レッスン		日本語の文章作成には欠かせないローマ字入力の練習、かな漢字変換に慣れる練習をします。

基本操作

起動方法

1. USB メモリをパソコンの USB ポートに差し込みます。
※パソコンの再起動を要求されることがありますので、その場合は従ってください。
※初回はドライバの読み込みを行うので起動に多少時間がかかることがあります。
2. [エクスプローラー]を起動し、TypeQuick for Schools USB メモリの内容を表示させます。
3. Typequick フォルダをダブルクリックしてフォルダ内のファイルを表示させます。
4. TypeQuick の実行ファイル(Windows_Typequick_for_Schools.exe)の緑のアイコンをダブルクリックして起動してください。
5. TypeQuick for Schools の最初の画面が開き、左下にいくつかのメッセージが表示されます。
6. 終了時の注意が表示されます。[了解]ボタンをクリックしてください。
7. 初回のみユーザの登録を行います。
ログイン時に必要になるユーザIDと、画面や印刷に表示される名前を入力し[OK]ボタンをクリックします。
8. ユーザIDを入力し、[OK]をクリックしてログインします。
9. TypeQuick for Schools のメインメニューが表示されます。

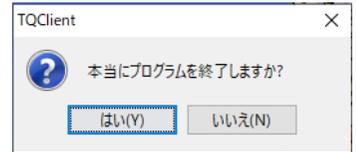


終了方法

1. 右上の×ボタン、もしくはメニューから終了を選びます。



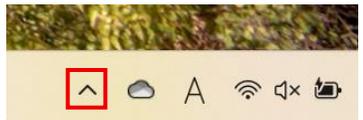
2. 確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。



3. USB メモリの安全な取り外しを行うよう、メッセージが表示されます。
[了解]をクリックします。



4. TypeQuick 終了後、30 秒ほどしてから画面右下の通知領域の[隠れているインジケータを表示します]ボタンをクリックします。



5. USB メモリのアイコンをクリックします。

[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコン 



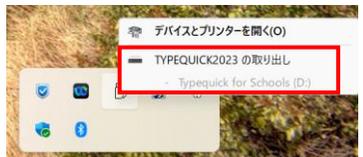
6. 「TYPEQUICK の取り出し」をクリックします。

ここで表示される内容は OS によって異なります。

「USB 大容量記憶装置 - ドライブ(X:)を安全に取り外します。」

「USB ディスクの取り出し」と表示される場合もあります。

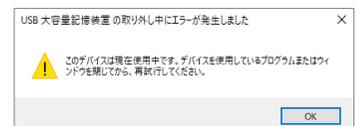
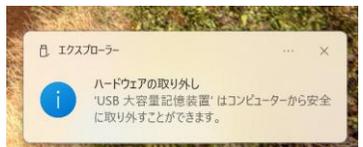
(ドライブ名は異なります。)



7. 安全な取り外しの確認画面が出たら、パソコンから USB メモリを取り外します。

※この時エラーメッセージが表示される場合は USB メモリに練習記録データを書き込み中です。時間をおいて再度同じ手順を行い、必ず取り外しの安全を確認してから USB メモリを取り外してください。

※レッスンの途中、または終了直後に安全な取り外しを行わないで USB メモリを取り外すと、練習記録データを破損する場合がありますのでご注意ください。



練習の開始

ログインするとメインメニューが表示されます。

はじめて練習を行うときには、まず画面最上部に表示される練習コースを確認してください。

コースが違っている場合はメインメニューの[練習コースの選択]をクリックし、正しい練習コースを選択してください。

レッスンの開始をクリックして練習を始めます。



下は TypeQuick for Schools の標準的な練習画面です。



- ① 上段の練習テキストに従って、赤いマーカーが示す文字をタイピングしていきます。自分がタイピングした文字は下段に表示されます。(スピードレッスンの場合は、間違ってタイピングした文字だけが赤字で表示されます。)
- ② タイピング練習の進捗がアドベンチャーマップに表示されます。
- ③ 得点が表示されます。レッスン中にいくつか得点取得のチャンスがあります。
- ④ 入力したキーの正誤や、時間切れのメッセージ、学習者へのアドバイスなどが表示されます。

練習の進め方

練習を始める前に

はじめてタッチタイピングを学習される方は、「ローマ字コースキーボード」または「英字コースキーボード」から始めることをおすすめします。

両コースとも、全部で 10 レッスンあります。レッスン 1～6 で文字キーを、レッスン 7～8 で数字キーを学習していきます。レッスン 9～10 では、正確率レッスンとスピードレッスンを交互に繰り返し、総合力を高めます。

各レッスンはさらに A～C の 3 パートに分かれています。新しいキーを覚えるときには必ず画面にキーボード図が表示され、ホームポジションキーとの組み合わせでキーの位置と正しい打ち方を覚えていくようにデザインされています。



各レッスンでは、まず、集中力を高めるために一定量の意味のない文字列をタイピングする練習を行い、それから、これまでに覚えたキーを組み合わせでつくられた意味のある単語や文章をタイピングする練習を行います。

- まず目標スピードを決めましょう。
- 練習は毎日少しでも続けることが大切です。1日に30分～1時間はパソコンの前に座って練習するようにして下さい。「1日やって1週間休み、そしてまたやる」ではなかなか上達しません。
- 1日にレッスンを2つも3つも進むのは止めてください。人間の記憶が定着するには少し時間が必要です。一度にたくさんのレッスンをして練習効果が上がるどころか、逆に混乱して練習効果が低くなります。
- 必ず正しい指使いで練習して下さい。「自分は2本指の方が速いから」と2本指で打ってはいつまでたっても上達しません。
- 自信のないキーがあったり、タイプクイックから復習を勧められたりすることがあれば、復習をしましょう。ただし、復習のやり過ぎも良くありません。復習は、1つのレッスンにつき多くても3回までにしましょう。それ以上復習を続けるよりも、先に進んで徐々に慣れていったほうが効果的です。
- イメージトレーニングも効果的です。普段パソコンから離れているときでも、キーボードと自分の手をイメージして、広告などの文字を頭の中でタイピングする練習をしてみましょう。より確実に覚えられます。
- 「ローマ字コースキーボード」、「英字コースキーボード」のレッスン 1～8 を行っている間は、混乱しますので他のコースを行わないようにしましょう。
- 変換レッスン以外のコースを練習するときには、かな漢字変換プログラムを OFF にして、英字入力ができるモードで練習してください。また、Caps Lock が OFF になっていることを確認しましょう。
- レッソンのパートは最後までやり終えるようにしてください。途中で中止すると練習結果が保存されませんので、次回も同じところを練習しなければなりません。

- 5秒以上キーが入力されないと、「時間切れです」というメッセージが表示されます。この時間切れメッセージが表示されている時間は、スピードの計算には含まれません。
- スピード計算のタイマーは、レッスンテキストの最初のキーが入力された時点からスタートします。必要があれば、最初のキーを入力する前に休憩をとってください。
- 正確率のレッスンでは、正しいキーが入力されるまで、先に進むことはできません。学習者が入力したキーは練習テキストの下に表示されます。
- スピードレッスンでは、誤ったキーを入力しても、どんどん先に進むことができます。練習テキストの下には、誤ったキーだけが赤字で表示されます。Back Space キーで後ろに戻って修正することもできますが、できるだけリズムよく先に進むようにしましょう。

上達のポイント

- 打つ文字を声に出しながら練習しましょう。声に出すと学習効果がアップします。
- 手元を見てはいけません。
- 画面の指示に従い、必ず正しい指使いで練習してください。
- キーを打ったらすぐにホームキーに戻します。
- 大文字を打つときの3つのステップ
 1. 小指で[Shift]キーを押します。
 2. [Shift]キーを押したまま、目的の文字キーを打ちます。
 3. [Shift]キーを離します。
- 最初は、スピードを速くすることばかりでなく、正確にタイピングするように心がけましょう。スピードはあとから徐々にあがっていきます。
- スピードレッスンでは、間違いを気にしすぎずリズムに乗ってタイピングする感覚を養いましょう。

スピードと正確率を高めるポイント

- 画面だけを見て、キーボードを見ないようにしましょう。
- 長く考えずに、すばやくタイピングしましょう。
- 間違えながらでもいいので、反射的にタイピングするよう心がけましょう。
- 毎日少しずつ練習しましょう。

強化レッスン

強化レッスンは特定のレッスン、パートを終了したときに行うかどうか聞かれます。メインメニューの「レッスン番号の選択」からは選択することができません。

レッスンの復習

レッスンはいつでも復習することができます。メインメニューの[レッスン番号の選択]から、復習をするレッスン、パートを選択してください。

復習をした場合、レッスン成績には直近の練習結果が保存されます。3回以上復習すると、指使いの練習は自動的にスキップされ、すぐにタイピング練習が始まります。

レッスンのスキップ

レッスンをスキップして先に進むこともできますが、順番に学習を進めることをおすすめしています。レッスン番号の選択でレッスンを飛ばして選択しようとするとメッセージが表示されます。[はい]を選択するとレッスンをスキップします。



メインメニュー

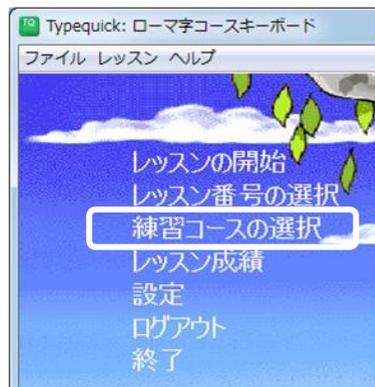
ログインするとメインメニューが表示されます。

初めて練習を行うときには、まず画面の最上部に表示される練習コースを確認してください。

コースが違っている場合はメインメニューの[練習コースの選択]をクリックし、練習コースを選択してください。

レッスンの開始

TypeQuick の初回起動時、または、そのコースを初めて選択したときのみ表示されるメニューです。2回目からは[続きから始める]というメニューになります。[レッスンの開始]をクリックすると、現在選択されているコースの最初のレッスンが始まります。その他のコースに移るには、[練習コースの選択]を行ってください。



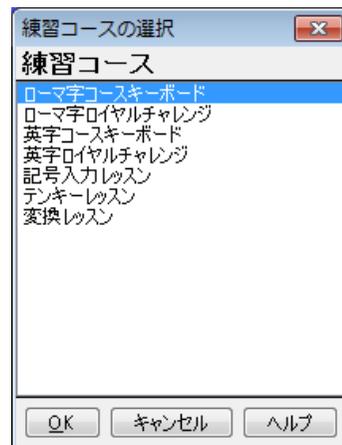
続きから始める

[続きから始める]をクリックすると、前回終了したレッスンの続きから練習を始めることができます。

練習コースの選択

TypeQuick には、複数の練習コースが用意されています。各コースの概要についてはコースの説明(P6)を参照してください。

[練習コースの選択]をクリックすると、選択画面が開きますので、コース名を選び[OK]をクリックして確定します。



レッスン番号の選択

各練習コースは複数のレッスンからなります。各レッスンはさらに複数のパートに分かれています。

[レッスン番号の選択]をクリックするか、[練習コースの選択]を行うと、レッスン番号の選択画面が開きます。レッスン番号とパート名を選択し、[OK]をクリックして確定します。

キーボード練習、記号入力レッスン、テンキーレッスンについては、各パートで学習するキーがパート名の右に表示されています。苦手なキーの復習を行う時に参照してください。



レッスン成績

成績一覧

メインメニューから[レッスン成績]を選択すると、現在選択されているコースの成績一覧が、レッスン、パート毎に一覧表示されます。

※少なくとも1パートを終了しないと成績は表示されません。



並べ替え

並べ替えを行うには、基準とするカラム(列)の見出しをクリックします。そのカラムの見出しに下向きの赤い矢印が表示され、値の大きい方から順(降順)に並べ替えが行われます。

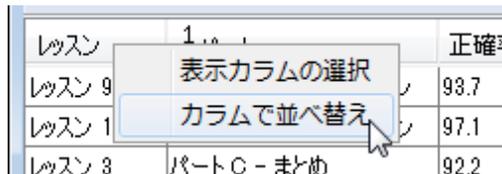


もう一度カラムの見出しをクリックすると、赤い矢印が上向きに変わり、値の小さい方から順(昇順)に並べ替えが行われます。



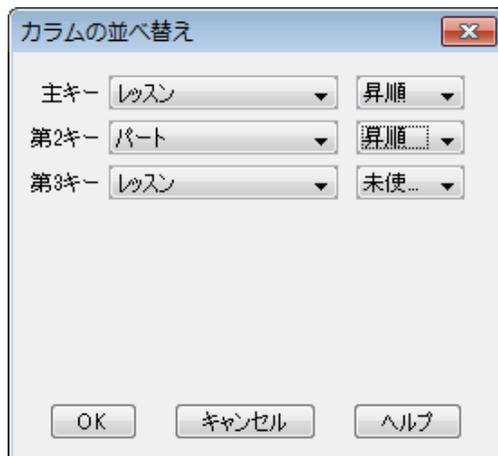
複数のカラムによる並べ替え

成績一覧画面でカラムの見出しを右クリックして、ポップアップメニューを表示し、[カラムで並べ替え]を選択します。



レッスン	1	正確率
レッスン 9		93.7
レッスン 1		97.1
レッスン 3	パート C - まとめ	92.2

主キー、第2キー、第3キーをドロップダウンメニューから選択し、降順または昇順を指定し、[OK]をクリックして確定します。



主キー	第2キー	第3キー	昇順
レッスン	パート	レッスン	降順
			未使...

OK キャンセル ヘルプ

並べ替えを行ったあとにカラムに表示される下向き(または上向き)の赤い矢印は降順(または昇順)を示します。赤い矢印の上の数字は、並べ替えの優先順位を示します。

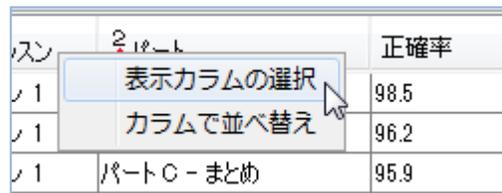
複数のカラムによる並べ替えを行った後にカラムの見出しをクリックすると、複数のカラムによる並べ替えが解除され、クリックしたカラムで並べ替えが行われます。

表示するカラムの選択

成績一覧の画面に表示される項目は、初期設定では、[レッスン]、[パート]、[正確率]、[語/分]、[時間]、[最後のレッスン完了日]の6項目です。

成績一覧に表示するカラムは追加または削除することができます。

成績一覧画面でカラムの見出しを右クリックして、ポップアップメニューを表示し、[表示カラムの選択]をクリックします。



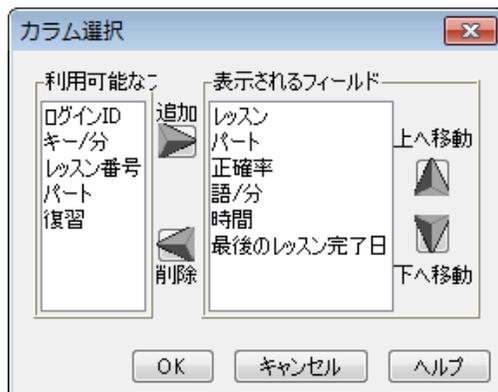
レッスン	パート	正確率
1		98.5
1		96.2
1	パート C - まとめ	95.9

カラム選択画面が表示されます。

「表示されるフィールド」には表示されている項目が、「利用可能なフィールド」には非表示になっている項目が表示されています。

表示、または非表示にしたい項目をクリックして反転させ、[追加]または[削除]ボタンをクリックして、どちらかに移動します。

「表示されるフィールド」に表示されている項目をクリックして反転させ、[上へ移動]または[下へ移動]ボタンをクリックすると、成績一覧に表示する順序を変えることができます。



利用可能なフィールド	表示されるフィールド
ログインID	レッスン
キー/分	パート
レッスン番号	正確率
パート	語/分
復習	時間
	最後のレッスン完了日

OK キャンセル ヘルプ

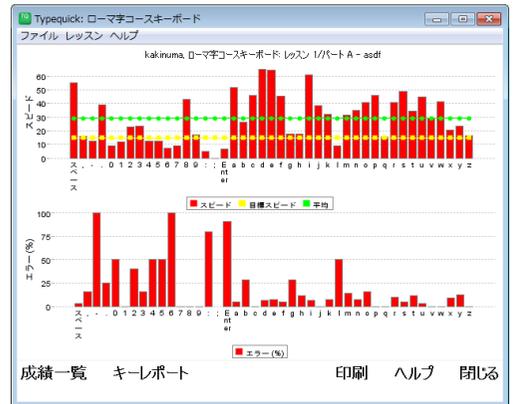
キーレポート

「成績一覧」画面で[キーレポート]をクリックすると、レッスン成績がグラフ表示されます。

上段には、キー毎のスピードが棒グラフで、目標スピードと平均スピードが折れ線グラフで表示されます。

下段には、キー毎のエラー率が棒グラフで表示されます。

レッスン成績に戻るには左下の[成績一覧]を、メインメニューに戻るには右下の[閉じる]をクリックしてください。



レッスン成績の印刷

成績一覧の画面から、[印刷]をクリックしてください。

TYPEQUICK					
ローマ字キーボード 学習者：山本					
レッスン	パート	正確率	錯字	時間	最後のレッスン完了日
レッスン4	パートC	86.3	57.4	000.03	2005-09-26 14:49
レッスン4	パートB	85.3	46.6	000.01	2005-09-26 14:45
レッスン4	パートA	84.6	48.3	000.03	2005-09-26 14:44
レッスン3	パートC	88.5	45.4	000.04	2005-09-26 14:40
レッスン3	パートB	88.5	46.5	000.01	2005-09-26 14:35
レッスン3	パートA	88.6	46.6	000.02	2005-09-26 14:31
レッスン2	パートC	88.4	43.2	000.04	2005-09-26 14:27
レッスン2	パートB	88.4	40.9	000.02	2005-09-26 14:22
レッスン2	パートA	88.5	41.7	000.02	2005-09-26 14:20
レッスン1	パートC	88.0	44.0	000.02	2005-09-26 14:18
レッスン1	パートB	88.0	40.4	000.01	2005-09-26 14:16
レッスン1	パートA	87.0	42.4	000.02	2005-09-26 14:15

印刷日時：2005-09-26 14：49

設定

現在選択されているコースに関する設定を行います。

ここで行う設定は、現在選択しているコースだけに反映されます。他のコースの設定を変更するには、まず、コースの選択を行ってください。

メインメニューから[設定]をクリックして設定画面を開き、[全般]、[レッスン]、[デザイン]、[キーボード]の4つのタブを使って各項目を設定します。

[標準に戻す]をクリックすると、[設定]で変更した全ての項目が標準値に戻ります。

全般タブ

[語/分(WPM)]、[キー/分(KPM)]

スピードの単位を選択します。WPM(Word Per Minute)は1分間に打ったワード数、KPM(Key Per Minute)は1分間に打ったキーの数を表します。

1ワードは5ストロークなので、1WPM=5KPMです。

[目標スピード]

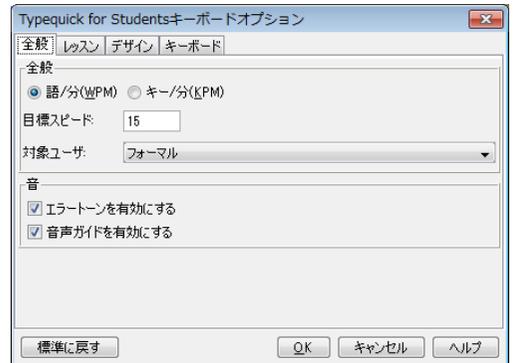
標準設定は15WPMです。テンキーレッスンは20WPMが初期値です。半角数字で入力してください。

[エラートーンを有効にする]

ミスタイプをしたときに鳴るエラー音です。標準設定では有効になっています。

[音声ガイドを有効にする]

標準設定では有効になっています。



レッスンタブ

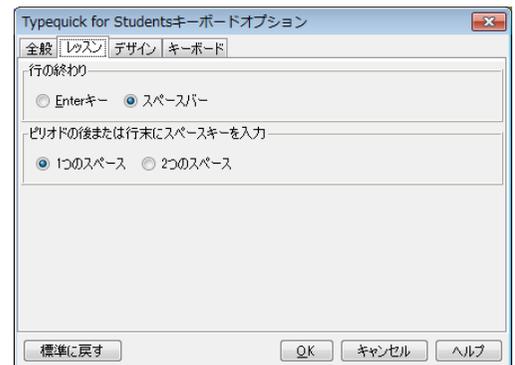
[行の終わり]

行末にスペースバーを使うか、エンターキーを使うかを選択します。標準設定ではスペースバーになっています。

[ピリオドの後または行末にスペースキーを入力]

ピリオドの後または行末に入力するスペースの数を1つまたは2つのいずれかに指定します。

※「テンキーレッスン」が選択されているときには[行の終わり]は表示されません。

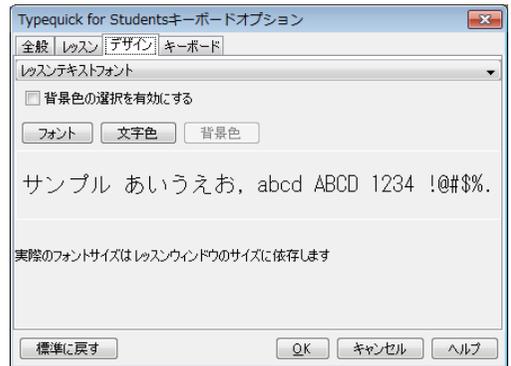


デザインタブ

画面に表示される文字大きさ、フォント、色、背景色を変更します。

[フォント]または[文字色]をクリックして、フォントの種類、サイズ、色を設定します。

背景色を変えるには、[背景色の選択を有効にする]にチェックを入れてから、[背景色]をクリックしてください。



キーボードタブ

レッスン画面に表示するキーボード図をドロップダウンメニューから選択することができます。

通常は「Japanese English Keyboard」です。

「テンキーレッスン」が選択されているときには、テンキーのレイアウト図を選択することができます。



終了

プログラムを終了します。

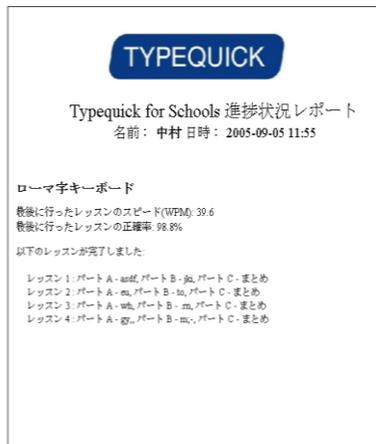
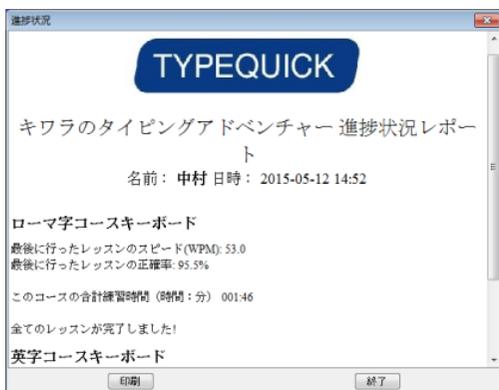
※パソコンから USB メモリを取り外すときは必ず[安全な取り外し]を行ってください。[安全な取り外し]の手順は、「終了方法」(P8)を参照してください。

その他の機能

メインメニューのほか画面上部のメニューバーから選択できる機能があります。

進捗状況レポート

学習者の進捗状況を表示し、印刷することができます。レポートには、学習者の氏名、日時、コース毎の最後に行ったレッスンのスピードおよび正確率、完了したレッスン・パート名が表示されます。メニューバーから[ファイル]→[進捗状況レポート]をクリックすると進捗状況レポートを表示します。画面下の[印刷]をクリックするとレポートを印刷します。



データの同期

練習記録データを TypeQuick サーバ内のデータと同期します。ご担当の先生または管理責任者へ練習記録データを提出する場合や、TypeQuick for Schools サイトライセンスを併用する場合に使用する機能です。

メニューバーから、[ファイル]→[データの同期]をクリックすると右の画面が表示されます。

同期を行うには TypeQuick サーバの IP アドレスとポート番号が必要です。ご担当の先生または管理責任者の指示に従って、TypeQuick サーバの IP アドレスとポート番号を入力してください。



練習記録データを出力する

メインメニューから、[ファイル]→[練習記録データを出力する]を選択し、保存先を指定して[保存]をクリックします。データは TypeQuick 独自のファイル形式(.tqs)で保存されます。

練習記録データを取り込む

メニューバーから、[ファイル]→[練習記録データを取り込む]を選択すると、練習記録データを取り込むことができます。

取り込むことができるのは、[練習記録データを出力する]を使って保存したファイル(.tqs 形式)だけです。

レッスンを中止する

レッスン・パートの途中で、メニューバーから[レッスン]→[レッスンを中止する]を選択するか、または ESC キーを押すと、途中で練習を止めることができます。

途中でレッスンを中止すると、そのパートの練習結果は保存されません。

ヘルプ

ヘルプでは次の情報を見ることができます。

- ・ プログラムに関するヘルプ……TypeQuick について説明しています。
- ・ ウェブサイト……TypeQuick のサイトに接続します。
- ・ バージョン情報……TypeQuick プログラムに関するバージョン情報等を表示します。

Esc キー

指使いの練習のアニメーションが表示されている途中で[Esc]キーを押すと、アニメーションをスキップして次の画面に進むことができます。

アニメーション以外の画面で[Esc]キーを押すと、レッスンを中止するかどうか確認するメッセージが表示されます。

ユーザ ID、氏名の変更

一度登録したユーザ ID や氏名を変更したい場合はご担当の先生または管理責任者の方にご相談ください。(管理者用マニュアル「インストラクターズマニュアル」をご参照ください。)

画面サイズの変更

ウインドウ枠をドラッグしてウインドウサイズを変更した場合に、フリーズしているように見えることがあります。このような場合は、[最大化ボタン]で最大化した後、[元のサイズに戻すボタン]をクリックしてください。

学習するキーの一覧

「英字／ローマ字コースキーボード」で学習するキーの一覧

レッスン	パート	学習内容	
		英字コース	ローマ字コース
イントロダクション	—	賢者	
	—	正しい姿勢	
	—	ホームキーの練習	
レッスン 1	パートA	a s d f	a s d f
	パートB	j k l ;	j k i
	パートC	まとめ	
レッスン 2	パートA	e h i .	e u
	パートB	L J K H I	t o
	パートC	まとめ	
レッスン 3	パートA	t r n o	w h
	パートB	N O	. r n
	パートC	まとめ	
レッスン 4	パートA	c u D E T A S F C U	g y ,
	パートB	v w V W R	m ; -
	パートC	まとめ	
レッスン 5	パートA	, g G	p v
	パートB	x X p P	z b
	パートC	まとめ	
レッスン 6	パートA	q Q m M ?	c q
	パートB	y Y z Z b B	l x
	パートC	まとめ	
レッスン 7	パートA	1 2	1 2
	パートB	3 4 5	3 4 5
	パートC	まとめ	
レッスン 8	パートA	6 7	6 7
	パートB	8 9 0	8 9 0
	パートC	まとめ	
レッスン 9	パートA	正確率レッスン	
	パートB	スピードレッスン	
	パートC	正確率レッスン	
レッスン 10	パートA	スピードレッスン	
	パートB	正確率レッスン	
	パートC	スピードレッスン	

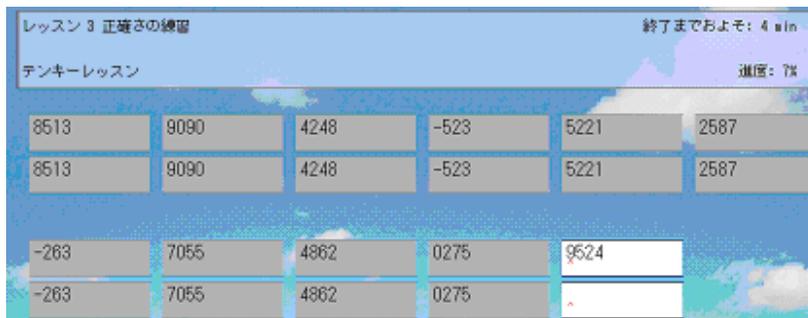
「記号入力レッスン」で学習するキーの一覧

レッスン番号	パート	学習内容
レッスン 1	パート A	! @ #
	パート B	\$ %
	パート C	まとめ
レッスン 2	パート A	' ^ &
	パート B	* ()
	パート C	まとめ
レッスン 3	パート A	/ ? "
	パート B	- = _ +
	パート C	まとめ



「テンキーレッスン」で学習するキーの一覧

レッスン番号	パート	学習内容
レッスン 1	パート A	4 5 6
	パート B	8 2 -
レッスン 2	パート A	1 3 7
	パート B	0 9 .
レッスン 3	パート A	スピード練習
	パート B	正確さの練習



TypeQuick 技能認定証

TypeQuick 技能認定証について

TypeQuick 技能認定証(CERTIFICATE CARD)は、
Typequick 社公認の技能認定証です。

技能レベルに応じて紙のカードまたはオープンバッジを発行いたします。

※TypeQuick 技能認定証は、Typequick 社独自の基準に達したことを認定するもので、公的な資格ではありません。

※紙の認定証は、2027年3月31日受付分をもちまして終了いたします。



カードの種類とレベル

GOLD LEVEL

正確率：97%以上 かつ スピード：50WPM 以上

秘書業務やデータ入力などの専門分野でも活躍できる実力があると認定します。

SILVER LEVEL

正確率：95%以上 かつ スピード：30WPM 以上

コンピュータのユーザとして十分なレベルに到達していると認定します。

TQ LEVEL

正確率：93%以上 かつ スピード：20WPM 以上

タッチタイピングの基礎ができていることを認定します。

判定方法

ローマ字/英字コースキーボードの以下の3つのレッスン、パートの成績のうち、一番高い成績で判定します。

■対象レッスン、パート：レッスン9パートA、レッスン9パートC、レッスン10パートB

判定する成績は、1回のレッスンで記録した正確率とスピードです。

同じレベルの成績がある場合はスピードが最も速い成績を採用します。

レッスン1～8、レッスン9と10のスピードレッスンやほかのコースの成績は関係しません。

スピード、正確率の小数点以下は切り捨てます。

お申込み方法

<個人でお申し込みの場合>

個人でお申し込みの場合、認定証の発行手数料として¥1,000 分の郵便定額小為替を郵便局でご購入ください。レッスン成績(成績一覧の画面)を印刷し、必ず申込者の本名(漢字およびローマ字)とメールアドレスをご記入ください。レッスン成績に郵便定額小為替をそえて下記住所までお送りください。

〒186-0002 東京都国立市東1-4-15

日本データパシフィック(株) タイブクイック認定証 係

<団体でお申し込みの場合>

10名様以上の団体でお申し込みの場合は無償になりますので、ご担当の先生または管理責任者の方にご相談ください。

ユーザーサポート

FAQ

Q1: フリーズしたようになります。

ウインドウ枠をドラッグしてウインドウサイズを変更した場合に、フリーズしているように見える場合があります。このような場合は、[最大化ボタン]で最大化した後、[元のサイズに戻すボタン]をクリックしてください。正常な状態に戻ります。

Q2: ユーザID や氏名を間違えて登録してしまいました。

ご担当の先生または管理責任者の方にご相談ください。(管理者用マニュアル「インストラクターズマニュアル」をご参照ください。)

Q3: 練習テキストが重なってしまうことがあります。

画面サイズが小さいとテキストが重なってしまうことがあります。最大化してご利用ください。

Q4: 「体験版」であるというメッセージが表示されて練習ができません。

ご担当の先生または管理責任者の方にご相談ください。(管理者用マニュアル「インストラクターズマニュアル」をご参照ください。)

Q5: 「LaunchAnywhere プロパティファイルがありません」というエラーメッセージが表示されて、TypeQuick を起動できなくなりました。

TypeQuick USB メモリにある TypeQuick プログラムファイルの名前が変更されていないかご確認ください。TypeQuick プログラムファイルは緑のアイコンで、種類はアプリケーションです。正しい名前は「Windows_Typequick_for_Schools.exe」です。(exe は設定により表示されない場合があります。)名前が変更されている場合は正しい名前に戻してください。

ユーザーサポート

「TypeQuick for Schools 研修キット」は、学校もしくは企業に対して特別に提供されるライセンスに基づくものです。製品に関するご質問や技術的サポートは、エンドユーザが学校または企業に在籍していることを条件に、学校または企業の管理責任者の方を通じてのみ承ります。

ディスク交換も学校または企業に在籍していることを条件として承ります。

サポート情報はインターネットホームページでも公開しております。

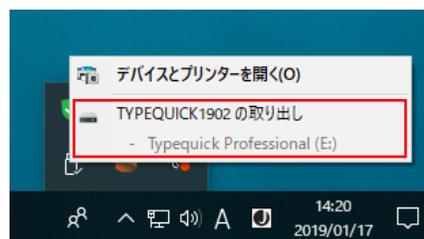
URL: <https://www.datapacific.co.jp/typequick/>

USBメモリの安全な取り外し方

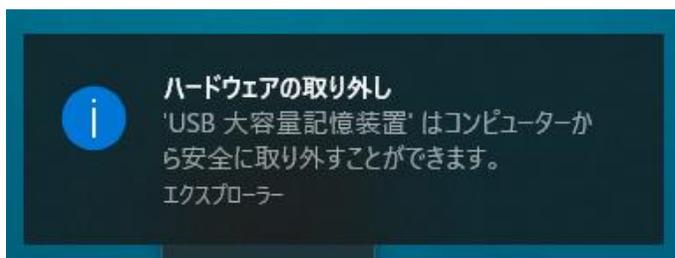
1. TypeQuick を終了します。
2. TypeQuick 終了後、30 秒ほどしてから画面右下の通知領域の[∧]をクリックし、USB メモリのアイコンをクリックします。



3. 「TYPEQUICK の取り出し」をクリックします。
ここで表示される内容は OS によって異なります。「USB 大容量記憶装置 - ドライブ(X:)を安全に取り外します。」「USB ディスクの取り出し」と表示される場合もあります。(ドライブ名は異なります。)



4. 「安全に取り外すことができます」というメッセージが出たら、パソコンから USB メモリを取り外します。



※この時エラーメッセージが表示される場合は USB メモリに練習記録データを書き込み中です。時間をおいて再度同じ手順を行い、必ず取り外しの安全を確認してから USB メモリを取り外してください。